

本県の状況

支給労働者1人平均支給額	48万6,564円	17.5%増加
支給事業所数割合	88.3%	0.5ポイント減少
平均支給率(支給月数)	1.17か月	0.07か月増加

1 支給労働者1人平均支給額

調査産業計における支給労働者1人平均支給額は48万6,564円で、前年比17.5%と1年ぶりに増加した。

産業別に支給額をみると、情報通信業106万5,504円(同32.4%増加)が最も高く、以下、学術研究、専門・技術サービス業103万8,186円、電気・ガス・熱供給・水道業89万7,977円、製造業76万5,980円、金融業、保険業55万6,661円だった。

2 支給事業所数割合

調査産業計における支給事業所の割合は88.3%で、前年の88.8%を0.5ポイント下回った。

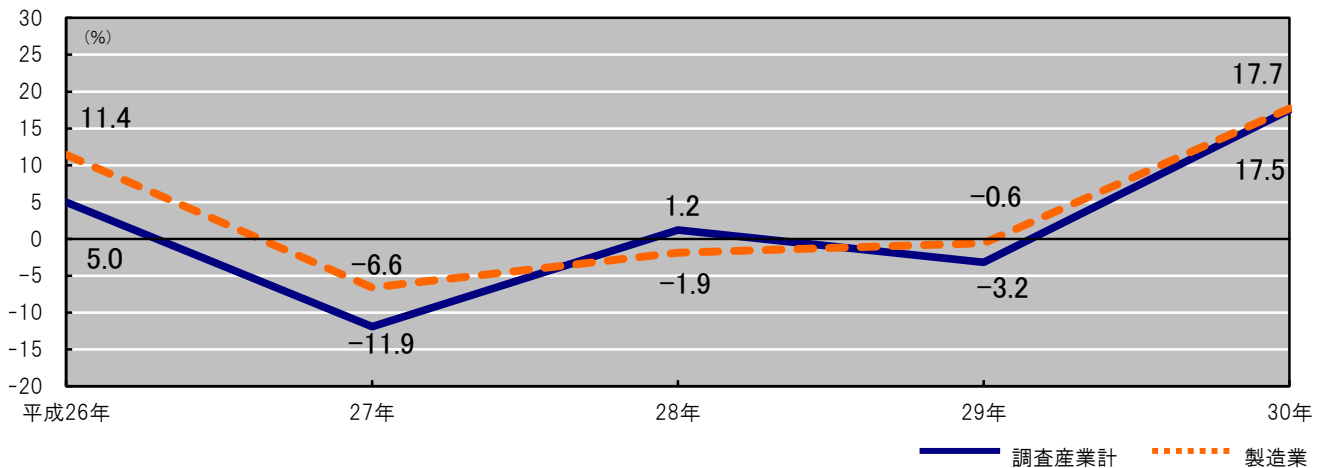
産業別にみると、調査対象の全事業所で夏季賞与が支給されたのは金融業、保険業、学術研究、専門・技術サービス業、複合サービス事業の3業種だった。

3 平均支給率(支給月数)

調査産業計における平均支給率(所定内給与に対する支給割合)は1.17か月で、前年の1.10か月を0.07か月上回った。

産業別にみると、電気・ガス・熱供給・水道業が2.53か月(前年差0.17か月増加)と最も高く、以下、学術研究、専門・技術サービス業1.86か月(同0.14か月減少)、金融業、保険業1.77か月(同0.12か月増加)、複合サービス業1.70か月(同0.06か月増加)、情報通信業1.66か月(同0.13か月減少)、教育、学習支援業1.66か月(同0.11か月増加)だった。

夏季賞与(支給労働者1人平均支給額)の前年比の推移



夏季賞与集計の説明

この結果は、毎月勤労統計調査地方調査の事業所規模30人以上の事業所について、平成30年6月分～平成30年8月分における「特別に支払われた給与」のうち、一般的に賞与、ボーナスなどと呼ばれている給与(以下「賞与」という。)を集計したものです。この利用についての留意点は、次のとおりです。

- 1 「支給労働者1人平均支給額」とは、賞与を支給した事業所の全常用労働者(当該事業所で賞与の支給を受けていない労働者も含む)についての1人平均賞与支給額です。
- 2 「支給事業所数割合」とは、賞与を支給した事業所の全事業所に占める割合です。
- 3 「支給労働者数割合」とは、常用労働者総数に対する賞与を支給した事業所の全常用労働者数(当該事業所で賞与の支給を受けていない労働者も含む)の割合です。
- 4 「平均支給率(支給月数)」とは、賞与を支給した事業所における賞与の所定内給与に対する割合(支給月数)の平均です。